

地域おこし協力隊 活動記 Vol.51



地域おこし協力隊の石田&佐野です。弘前観光コンベンション協会長賞おめでとうございます！ 前年の市長賞に引き続いて賞の獲得、相馬のねぶた魂が沿道の観客の皆さんに伝わりましたね！

相馬ねぶた愛好会の皆様の事前準備・当日のねぶたと太鼓の運搬・バスでの送迎、農協女性部の方々の食事準備と宴会の準備、全てがひとつになって「相馬ねぶた」が出来上がっていることを知りました。

「相馬ねぶた」最高！
今回は初参加の私達が、ねぶた参戦記をお届けします。

《石田》

私は家族で参加させていただきました。お囃子は聞いたことがありませんが、じゃ鉦を叩くのは初めて！ はじめは不安な気持ちでお囃子練習に（娘達とじゃ鉦の奪い合いをしながら）参加していました。でも皆さんの優しい教えのおかげで、3日ほどで叩けるようになりました。

2日の審査の日、隊列を揃えることと止まった時に沿道に向くことに気を付けつつも、こんなに大きなお祭りがある土地の仲間入りが出来た事、観光に来て下さっている方々の夏の思い出作りに関われた事、胸の奥からグッと熱い感情が沸き上がってきていました。そうこうしている間違えて叩いてしまう時もあったので、来年は軽くステップ踏みながらも出来るよう改善していきたいです！

《佐野》

まずは、相馬のねぶたの大きさに圧倒されました。子どもの頃に見ていたねぶたとは明らかにスケールが違い、物凄く迫力を感じました。私は小学生の頃に笛を吹いた事がある、というだけで無謀にも30数年ぶりの笛での参戦を決意。お囃子練習に参加し始めた当初は、音はなんとか出るものの高い音が出ずかなり苦戦しました（汗）。でも周りの方々のアドバイスのお陰で、何とか本番までには吹けるようになりました！ 笛で一緒にさせていたいただいた皆さん、ありがとうございました！ そして、沿道で「相馬」タオルを掲げて応援して下さいました。相馬の皆さん、とってもとっても嬉しかったです！ また来年も皆さんと一緒に楽しみたいと思います。

へばね

(*) 相馬地区公式HP (<http://www.city.hirosaki.aomori.jp/soma/>)

